

## 建築

都市整備局  
市街地整備部  
都心まちづくり課

### 大山 宗之

埼玉県八潮市出身  
平成30年度採用

建築物が建築関係法令に適合しているかという観点から審査・指導を行う業務や、より魅力的な街並みづくりのための都市景観に係る助言・指導などに携わります。また、市営住宅や学校などの市有建築物の新築・改築などをする際の設計や工事監督を行うほか、土木職と共に区画整理や都市再開発に関する業務にも携わっています。



### 理想は、「地域主体」のまちづくり。

東京の民間企業でまちづくりに携わっていた大山さんが転職で仙台市にやってきたのは平成26年。このとき市民参加型のまちづくりプロジェクト「WEプロジェクト」に参加したことがきっかけで、仙台に腰を据えてまちづくりの計画から実現まで一貫して携わってみたいと思うようになったといいます。「民間企業では、まちづくりに携われる分野や期間が限られてしまうことが多く、常にもどかしさを感じていました。WEプロジェクトで当時“よそ



者”だった私を受け入れてくれた仙台市や市民の方の懐の深さに感銘を受けて、このまちでまちづくりに関わっていきたいと思うようになりました」。

建築職は、設計や工事監督といった業務のほかにも、事業の企画立案や計画の策定など、さま

ざまな業務でスキルを生かすことができます。大山さんは現在、「リノベーションまちづくり」と「エアーマネジメント活動」を推進する事業を担当しています。「リノベーションまちづくりとは、『遊休不動産や道路、公園などの公共空間を新たな用途で活用しながら地域課題を解決していくこと』で、仙台市では人の循環や変化を感じられるようなまちを目指し、通り沿いのカフェにテラス席を設けたり、誰でも休憩できるベンチを歩道や軒先に設置したりしています。エアーマネジメント活動は、地域の人たちのまちづくりを支援するための取り組みです。関係者全体をコーディネートしたり、法律や制度を説明したりする場面も多く、さまざまな立場の人に分かりやすく説明するスキルが求められると感じるとともに、まちづくりが多くの人や仕組みによって支えられていることを実感できます」。

市職員としてまちづくりに関わる上で大事なものは、誰のための仕事なのかを明確にすることだと考える大山さん。「一部の市民や事業者だけの利益にならないよう全体の奉仕者として市民への丁寧な説明や調整、情報発信に努め、誰もが自分ごととして具体的な暮らしをイメージできるようなまちづくりを目指していきたいです」。



### One day Schedule

- 8:30 育児時間(朝90分)※
- 10:00 出勤、メールチェック
- 11:00 打ち合わせ、資料作成
- 12:00 昼休憩(読書、資格勉強)
- 13:00 移動(庁内→市内)
- 14:00 まちづくり協議会と打ち合わせ
- 15:00 警察や各種管理者などとの打ち合わせ
- 16:00 社会実験等の実施場所の現地確認など
- 17:15 議事録作成、退勤

※第一子が生まれた際、育児時間制度を活用して、朝90分(8:30～10:00)の育児時間を取得していたときのスケジュールです。

### Private

仙台に来たばかりの頃は、WEプロジェクトで出会った地域の仲間に誘われて、市民活動サポートセンターで打ち合わせをしてから、地下鉄やシェアサイクル(DATE BIKE)を利用し、近くの海や川、神社巡りをしていました。最近は、知人と一緒に山や河原で焚き火をすることにハマっています。